



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネット
 コード番号 7552 URL <http://www.happinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 苗手 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 浅津 英男 TEL 03-3847-0410
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	165,461	20.2	4,023	34.9	4,062	32.0	2,623	31.5
25年3月期第3四半期	137,683	△12.6	2,982	△38.3	3,076	△38.2	1,995	△15.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,855百万円 (47.6%) 25年3月期第3四半期 1,934百万円 (△13.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	116.46	115.06
25年3月期第3四半期	89.06	88.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	85,429	25,877	30.1
25年3月期	53,003	23,289	43.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 25,698百万円 25年3月期 23,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.25	—	11.25	22.50
26年3月期	—	11.25	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	13.50	24.75

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有
 配当予想の修正については、本日（平成26年2月12日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	16.0	3,400	14.4	3,500	13.6	2,000	△0.6	88.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）トイズユニオン株式会社
（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	24,050,000株	25年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,466,290株	25年3月期	1,593,370株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	22,528,002株	25年3月期3Q	22,403,678株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等により、円安基調への転換や企業業績の回復期待により株式市場が活況を呈するなど、緩やかに景気回復の兆しが見られる一方で、円安による輸入品価格の上昇や消費税増税による消費低迷への懸念など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属するエンタテインメント業界におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、ソフト配信やモバイル・オンラインゲームの普及の影響によるパッケージ市場の低迷等、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績は、売上高につきましては、平成25年7月16日付でビデオゲーム商材の卸売りを営むトイズユニオン株式会社の株式を取得し子会社化したことにより、前年同期を大幅に上回りました。また、利益面に関しては映像音楽事業、ビデオゲーム事業で苦戦を強いられたものの、玩具事業及びアミューズメント事業におきまして、最大の商戦期であります年末商戦においてヒット商材に恵まれ、好調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,654億6千1百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益は40億2千3百万円（同34.9%増）、経常利益は40億6千2百万円（同32.0%増）、四半期純利益は26億2千3百万円（同31.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①玩具事業

中核事業であります玩具事業は、バンダイの男児キャラクター「仮面ライダー鎧武」や女児キャラクター「アイカツ！」などのヒット商材に恵まれ、売上高・セグメント利益とも好調に推移いたしました。

この結果、売上高は609億9千4百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は26億6千7百万円（同27.3%増）となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、インターネットを利用した配信の普及の影響等により、パッケージ市場が低迷している中、当社グループにおきましても苦戦を強いられており、利益面に関しましては、一部の自社作品で評価損の引当を行ったことにより、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は330億2千4百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益は3億1千3百万円（同24.3%減）となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、モバイル・オンラインゲームなどの普及の影響等により、パッケージ市場全体が低迷している中、当社グループにおきましてはトイズユニオン株式会社の子会社化により、売上高は前年同期を大幅に上回っておりますが、利益面につきましては一部の在庫過多商品の評価減を計上したことにより苦戦いたしました。

この結果、売上高は543億2百万円（前年同期比82.9%増）、セグメント利益は3億5千1百万円（同44.3%減）となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、キッズカードゲーム機の商材において「アイカツ!」、「ドラゴンボールヒーローズ」が好調だったことに加え、玩具自動販売機商材も好調に推移していることにより、売上高、セグメント利益ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は171億3千8百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益は16億4千1百万円（同96.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ324億2千5百万円増加し、854億2千9百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、たな卸資産等の流動資産の増加302億7千9百万円によるものであります。なお、トイズユニオン株式会社を連結の範囲に含めたことによる資産の増加は141億4千3百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ298億3千8百万円増加し、595億5千1百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金等の流動負債の増加295億6千7百万円によるものであります。なお、トイズユニオン株式会社を連結の範囲に含めたことによる負債の増加は99億6千1百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ25億8千7百万円増加し、258億7千7百万円となりました。これは主に、四半期純利益計上による利益剰余金の増加26億2千3百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少5億6百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月12日の「平成26年3月期第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、トイズユニオン株式会社の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,155	5,987
受取手形及び売掛金	27,234	54,966
たな卸資産	6,529	12,001
その他	4,074	5,316
貸倒引当金	△63	△62
流動資産合計	47,930	78,210
固定資産		
有形固定資産	1,110	1,628
無形固定資産		
のれん	246	61
その他	738	441
無形固定資産合計	985	503
投資その他の資産	2,976	5,087
固定資産合計	5,072	7,218
資産合計	53,003	85,429
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,672	40,107
短期借入金	—	10,000
未払法人税等	678	1,210
賞与引当金	378	137
その他の引当金	24	24
その他	3,129	4,970
流動負債合計	26,883	56,450
固定負債		
退職給付引当金	1,830	2,071
役員退職慰労引当金	—	23
その他	999	1,005
固定負債合計	2,829	3,101
負債合計	29,713	59,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,775	2,775
利益剰余金	18,607	20,720
自己株式	△1,055	△971
株主資本合計	23,078	25,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	420
繰延ヘッジ損益	1	1
その他の包括利益累計額合計	191	422
新株予約権	17	178
少数株主持分	1	—
純資産合計	23,289	25,877
負債純資産合計	53,003	85,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	137,683	165,461
売上原価	120,241	146,654
売上総利益	17,442	18,806
販売費及び一般管理費	14,460	14,782
営業利益	2,982	4,023
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	21	28
負ののれん償却額	15	1
その他	61	48
営業外収益合計	100	80
営業外費用		
支払利息	3	15
貸倒引当金繰入額	—	25
その他	1	1
営業外費用合計	5	41
経常利益	3,076	4,062
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	6	—
負ののれん発生益	—	409
特別利益合計	6	411
特別損失		
固定資産売却損	21	1
固定資産除却損	20	3
投資有価証券売却損	7	—
投資有価証券評価損	31	7
会員権評価損	7	—
減損損失	28	117
役員退職慰労金	—	110
厚生年金基金脱退損失	—	166
特別損失合計	117	405
税金等調整前四半期純利益	2,966	4,068
法人税、住民税及び事業税	1,038	1,557
法人税等調整額	△67	△113
法人税等合計	970	1,444
少数株主損益調整前四半期純利益	1,995	2,624
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,995	2,623

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,995	2,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	231
繰延ヘッジ損益	0	△0
その他の包括利益合計	△60	231
四半期包括利益	1,934	2,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,934	2,854
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	59,335	33,599	29,683	15,066	137,683	—	137,683
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	59,335	33,599	29,683	15,066	137,683	—	137,683
セグメント利益	2,095	414	631	837	3,980	△998	2,982

(注) 1. セグメント利益の調整額△998百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△998百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な影響を及ぼすものではありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	60,994	33,024	54,302	17,138	165,461	—	165,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	60,994	33,024	54,302	17,138	165,461	—	165,461
セグメント利益	2,667	313	351	1,641	4,975	△952	4,023

(注) 1. セグメント利益の調整額△952百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△952百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、トイズユニオン株式会社の全株式を取得し、同社を新たに連結の範囲に含めております。これにより「ビデオゲーム事業」セグメント資産の金額は、前連結会計年度の末日に比べ、141億4千3百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な影響を及ぼすものではありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社との吸収合併)

当社は、平成26年1月10日開催の取締役会において、平成26年4月1日を期して、当社の100%子会社であります株式会社ハピネット・ピーエムを吸収合併することを決議いたしました。

1. 合併の目的

映像音楽市場におきまして、ソフト配信等の影響によりパッケージ市場が低迷する中、映像・音楽パッケージソフトの販売会社である株式会社ハピネット・ピーエムを当社に合併することにより、当社グループとして更なる効率化・合理化を図るために実施するものであります。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併決議取締役会	平成26年1月10日
合併契約締結日	平成26年1月10日
合併契約書承認株主総会	開催いたしません。(注)
合併予定日(効力発生日)	平成26年4月1日(予定)

(注) 本合併は、会社法第796条第3項に定める簡易合併ならびに同法第784条第1項に定める略式合併の規定により、当社および株式会社ハピネット・ピーエムにおいて、合併契約書に関する株主総会の承認を得ることなく行うものであります。

(2) 合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併(簡易合併)方式とし、株式会社ハピネット・ピーエムは解散いたします。

(3) 合併に係る割当ての内容

当社は、株式会社ハピネット・ピーエムの全株式を所有しているため、合併による株式割当てその他合併対価の交付はありません。また、新株式の発行および資本金の増加はありません。

3. 被合併会社の概要

(1) 商号	株式会社ハピネット・ピーエム
(2) 事業内容	映像・音楽ソフトの販売
(3) 本店所在地	東京都台東区駒形二丁目4番5号
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 野島 三郎
(5) 設立年月日	昭和26年9月20日
(6) 資本金	100百万円
(7) 発行済み株式総数	60,075,228株
(8) 決算期	3月31日
(9) 売上高	43,956百万円
(10) 当期純利益	865百万円
(11) 純資産	1,984百万円
(12) 総資産	9,792百万円

4. 合併後の状況

本吸収合併による当社の名称、所在地、代表者、事業内容、資本金及び決算期に変更はございません。

5. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理を行う予定であります。